



専門新聞写真コンクール

特報

発行所 社団法人日本専門新聞協会
 東京都港区新橋1-12-12
 第2階南側7号105-0001
 発行所 社団法人日本専門新聞協会
 理事長 梶尾 康憲
 編集 社団法人日本専門新聞協会
 会長 梶尾 康憲
 印刷所 株式会社 印刷社
 東京都港区南大塚3-13-12
 〒176-0005



文部大臣奨励賞
 『夏休みは、親子で』(写真)
 房本 勇雄 (日本教育新聞社)

社団法人日本専門新聞協会(亀尾康憲理事長、主催)第11回新聞写真コンクール入選作選定の審査委員会(委員長日男委員長)は、8月31日午後3時から、東京・虎ノ門の同協会議室で開かれ、文部大臣奨励賞を選定した。
 今回の企画から二〇名(内、デジタルカメラ部門10名)の応募者が寄せられ、日本写真協会名誉委員の芳賀田田男氏を審査委員長に、同会委員の江成常夫、関口照生両氏を審査員にお願いし、慎重に審査をいたした。別表のように文部大臣奨励賞、協会理事長賞、審査委員長賞、デジタルカメラ賞の四賞で、秀作二点を選定した。

第11回
**平成12年度の
 入選・秀作17点決まる**

(社)日本専門新聞協会理事長賞
 『スプラッシュ』(写真)
 間諺 晴之(悦 経)



来年は広く読者からも募集



社団法人日本専門新聞協会 理事長 亀尾康憲

ミレニアムを記念し第11回日らるもの本協会の新聞写真コンクールには、二〇名(うちデジタルカメラ部門10名)の応募者が寄せられ、日本写真協会名誉委員の芳賀田田男氏を審査委員長に、同会委員の江成常夫、関口照生両氏を審査員にお願いし、慎重に審査をいたした。別表のように文部大臣奨励賞、協会理事長賞、審査委員長賞、デジタルカメラ賞の四賞で、秀作二点を選定した。

来年は広く読者からも募集
 デジタルカメラの普及で、正真正正のデジタル写真が、ますます盛んになり、その技術も向上し、写真の表現力も飛躍的に向上している。本協会では、このデジタルカメラの普及を促進し、読者の皆さんから多くの作品を募集し、審査する。応募は、本協会のホームページから行う。詳しくは、本協会のホームページをご覧ください。

本協会の活動は、読者の皆さんからのご支援をいただき、活動しております。今後も、読者の皆さんからのご支援をいただき、活動してまいります。

本協会の活動は、読者の皆さんからのご支援をいただき、活動しております。今後も、読者の皆さんからのご支援をいただき、活動してまいります。



新聞 特報 コンクール



「17歳！親の背中を視て育つ」

青柳 正一（交通毎日新聞社）



審査委員長賞

「子育て」

笠井 忠宏（日本工業経済新聞社）



秀作



「天使のはしご」（熱海荘から） デジタルカメラ

天野 純太（セメント新聞社）



「東北の短い夏」(組写真)

五十嵐 一浩（福島建設工業新聞社）



平成12年度(第11回)専門新聞写真コンクール 入選・秀作招待作品一覧

(平成12年9月31日決定) 主催 社団法人日本専門新聞協会

賞名	作品名	氏名
文部大臣奨励賞	夏休みは、親子で(組写真)	藤本 芳田
(社)日本専門新聞協会 理事長賞	スプラッシュ(組写真)	開朗 晴之
審査委員長賞	子育て	笠井 忠宏
デジタルカメラ賞	ようこそ!! 森総理	清水 康功
秀作	17歳!親の背中を視て育つ	青柳 正一
//	天使のはしご(熱海荘から) (デジタルカメラ)	天野 純太
//	東北の短い夏	五十嵐一浩
//	一路 山小屋へ	石井あけみ
//	黄花草コスモスと蝶	西川 仁史
//	ワインボトル 第二の人生(デジタルカメラ)	稲垣 彰
//	パッションウェア(特撮の姿)	岡田 建樹
//	夏の日の開通式・川井伊予~大洲	小糸 憲紀
//	橋杭岩の朝(デジタルカメラ)	寺田 一郎
//	静寂な時間	野口 誓一
//	あ〜ん	林 初男
//	馬鹿に對いねえ〜	藤本 洋
//	ハイ!ジャンプ	藤本 郁巳
招待作品	杉渡	関又 時彦
//	親子でパソコン組立て	貞松徳二郎
//	江戸管化社会の行方(デジタルカメラ)	十文字義之

●招待作品は特報掲載を要し、新聞協会での1ヶ月展覧の機会をいただきました。

専門新聞 写真コンクール



デジタルカメラ賞
「ようこそ!! 森総理」
 清水 康功 (じほう)



「一路 山小屋へ」
 石井 恭けみ (日本専門新聞協会)



「ワインボトル 第二の人生」
 福徳 彰 (紙業日新報社)



「黄花コスモスと蝶」
 市川 仁史 (日本工業経済新聞社)



「ファッション ウェーブ」(情熱の波)
 岸田 琢哉 (経済新聞社)

秀作



「夏の日の開通式・伊予~大洲」
 小島 通紀 (経済新聞社)





「橋抗岩の朝」 デジタルカメラ
寺田 一郎 (報知新聞社)



「静寂な時間」
野口 新一 (日本工業経済新聞社)



「馬鹿に暑いねえ〜」
藤木 洋 (ドラッグマガジン)



「ハイ! ジャンプ」
藤木 晴巳 (日本教育新聞社)

親子をテーマとした作品と デジタルカメラ作品の応募多数に驚き

(応募作品でデジタルカメラ作品が17%を占める)



高野 孝典
芳賀日出男

第11回写真コンクールの応募作品は、デジタルカメラ作品が17%を占める。親子をテーマとした作品も増えている。高野孝典氏は、デジタルカメラ作品の応募が前年を上回ったことについて、デジタルカメラの普及と、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。芳賀日出男氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。高野孝典氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。芳賀日出男氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。



高野 孝典
江成裕夫

高野孝典氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。芳賀日出男氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。高野孝典氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。芳賀日出男氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。



高野 孝典
関口朋生

高野孝典氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。芳賀日出男氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。高野孝典氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。芳賀日出男氏は、デジタルカメラ作品の増加は、親子をテーマにした作品の増加と相まって、親子をテーマにした作品の増加を指摘している。

「あ〜ん」
林 初男 (日本工業経済新聞社)



入選者のことは

文部大臣奨励賞
日本書籍
協会の賞状

協会の賞状
関道徳之

審査委員長
笹井雄哉
日本書籍出版社

デジタルカメラ賞
清水直功
（さとう）



このたびは、理事長賞受賞の栄誉を蒙り、誠にありがとうございます。入選者のことは、文部大臣奨励賞、日本書籍協会の賞状、協会の賞状、関道徳之、審査委員長、笹井雄哉、日本書籍出版社、デジタルカメラ賞、清水直功（さとう）。